

2023年5月30日

各位

会社名 株式会社ティムス  
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗  
(コード：4891 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 伊藤 剛  
(TEL. 042-307-7480)

### 資金の充当予定時期の変更に関するお知らせ

株式会社ティムス（以下「当社」という。）は、2023年5月30日開催の取締役会において、株式上場時（2022年11月22日上場）に調達した資金の充当予定時期の変更を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。上述の充当予定時期は、「有価証券届出書」（2022年10月18日付で提出）、及び「有価証券届出書の訂正届出書」（2022年11月4日付及び2022年11月14日付で提出）にて開示したものです。

#### 記

##### （1）変更の理由

当社は、2022年11月の株式上場時に調達した資金を活用して研究開発を進めておりますが、2023年2月期に想定しておりましたTMS-008の非臨床試験費用の計上時期が一部次年度の支出見込みとなったこと、並びにパイプライン拡充に向けた外部アセット導入費用が想定を下回ったこと等から、2023年2月期における「創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費」への充当額が予定を下回ることとなりました。また、2024年2月期以降の充当時期の変動可能性を考慮し、「創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費」への充当予定時期を変更いたしました。上場時調達資金から「創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費」に充当する資金の合計金額に、変更はございません。

なお、医薬品の研究開発は、長期間にわたって実施することが一般的であり、その進捗は様々な要因により前後する場合がございます。研究開発にかかる資金の支出時期も同様で、各事業年度の支出額は様々な要因で上下する場合がございます。さらに、当社は外部の創薬シーズの導入も検討しておりますが、現時点においては、実際に導入が実施されるか、またその時期や対価がどの程度になるのかを正確に予測することは困難です。これらの理由により、「創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費」への充当金額につきましては、各事業年度の充当金額について変動可能性の幅を示す形とすることといたしました。

「研究開発人件費、諸経費等の研究開発経費」への充当予定時期及び金額につきましては、変更ございません。

##### （2）変更の内容

上場時調達資金の充当予定時期は以下の表のとおりです。変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

具体的な用途	充当予定時期	金額
① 創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費	2023年2月期	<u>150百万円</u>
	2024年2月期	<u>600百万円</u>
	2025年2月期	<u>450百万円</u>

	2026年2月期	<u>120百万円</u>
	計	1,320百万円
② 研究開発人件費、諸経費等の研究開発経費	2023年2月期	35百万円
	2024年2月期	170百万円
	2025年2月期	170百万円
	2026年2月期	32百万円
	計	407百万円

(変更後)

具体的な用途	充当予定時期	金額
① 創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費	2023年2月期	<u>10百万円</u>
	2024年2月期	<u>300百万円～600百万円</u>
	2025年2月期	<u>300百万円～500百万円</u>
	2026年2月期	<u>210百万円～710百万円※</u>
	計	1,320百万円
② 研究開発人件費、諸経費等の研究開発経費	2023年2月期	35百万円
	2024年2月期	170百万円
	2025年2月期	170百万円
	2026年2月期	32百万円
	計	407百万円

※ 「①創薬研究及びパイプラインの開発にかかる研究開発直接費」に充当予定の1,320百万円の内2025年2月期終了時点での未充当額を、2026年2月期に充当いたします。2026年2月期の充当予定額は、それまでの進捗に応じて最大で710百万円を予定しております。

以上